

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 藤 志織

## 1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、2019年3月4日から18日までの15日間オーストラリアニューサウスウェルズ州のキングスクリフにて、薬学・語学研修を行いましたのでご報告致します。滞在中は、ホームステイをしながらTAFE NSWで学習しました。

## 2. 事前研修会

出国前に近畿日本ツーリストの方に計3回のワークショップを行って頂きました。このワークショップでは、参加者それぞれの参加の目的を明確にしオーストラリア研修をよりよいものにするために行われました。

## 3. TAFEにて

### ①語学学習

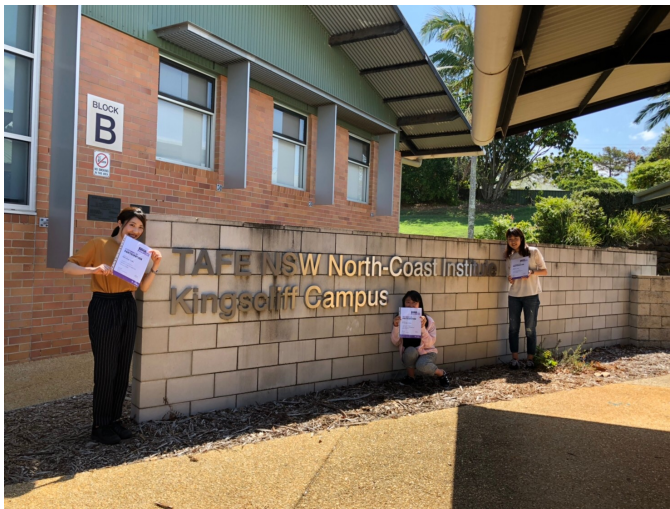
参加人数の関係から2クラスに分かれて学習しました。基礎的な英語の文法・発音、オーストラリアの文化・地理・動物を学んだり、ホームステイ先であったことを話し合っコミュニケーションを取る練習をしたり、最終日には現地の小学校を訪れ子供たちと日本の遊びをしたりしました。初めは聞き取ることが難しかったですが、先生が聞き取りやすくわかりやすい英語で話してくださったので毎日過ごしているうちにだんだんとわかるようになっていきました。

### ②薬学学習

オーストラリアの薬の分類や薬局での薬剤師の役割、処方箋の制度などを日本と比較しながら学び、また2ヶ所の薬局へ見学にも行きました。オーストラリアでは、予防接種や血糖値、血圧診断も薬局で受けることができ、医師の負担が減らされ、医療費の削減にもつながると聞きました。また、1枚の処方箋で同じ薬を有効期限内(1年間)であればリピートできる制度があることにも驚きました。

### ③その他

Griffith大学訪問、現地小学校訪問、アボリジニとの交流などを行いました。特にアボリジニとの交流ではオーストラリアの文化をととても感じることができました。実際に私も野生植物を食べたり使ってみたりしました。原住民の自然・大地と共存して生活していくという姿が本当に素晴らしいなと思いました。



#### 4. ホームステイ

今回、私は友達と2人で1つの家庭にホームステイさせていただきました。始めはホストファミリーとの会話も身振り手振りでどうしてもコミュニケーションが取れないときは翻訳機での会話でしたが、帰る頃には翻訳機を使うことはほとんどなく受け身だった会話も自分から話すことも増えました。ホストファミリーの日本好きの友達の方との会話は着物の話などで盛り上がり楽しかったです。ホリデーには海やスーパー、山奥の親戚の家など様々なところに連れて行っていただきました。シャワーの時間が約5分というのは最後まで辛かったです、夕方のビーチの散歩や毎日の夕食はとても楽しくて、不自由なくオーストラリアならではの貴重な生活ができたと思います。

## 5. 最後に

初めての海外研修、ホームステイで楽しみな一方で不安もたくさんありました。しかし、毎日が新鮮でたくさんの体験ができた、とても充実したあつという間の2週間になりました。これまで海外や英語にそれほど興味がなかったのですが、もっと英語が分かればな、話せたらな、他の国にも行ってみたいなと思えるようになりました。

今回の研修は今後活かせる本当に貴重な経験でした。

ありがとうございました。

